

沖縄設計センター「SDGs への取り組み」について

構成

(1) SDGs への取り組み

2015年に国連で「持続可能な開発目標」(Sustainable Development Goals: SDGs)が採択され、世界全体が2030年までに達成すべき共通目標が示されました。これは、国規模で行うことはもちろんのこと、さらにそこに属する地方自治体、民間会社及び個人にいたるまでが活動に取り組むことで、より効果的で持続可能な開発を行うことが期待されています。

弊社は沖縄県において社会基盤の整備を通じ建設コンサルタントとして過去30年以上にわたり多くの業務を実施してきました。今後より地域に根づいた活動を継続、持続可能な開発の一助となるよう弊社はSDGsの活動へ取り組んでいきます。

【当社の取組内容】

- ① 女性の専門職(設計技術者)や管理職を積極的に雇用し、専門職を4割程度、管理職3割程度を目指す(GOAL5)。
- ② すべての社員を正社員とし、「同一労働、同一賃金」を目指す(GOAL8)。
- ③ 通称「働き方改革関連法」に則り出産、育児、介護休暇等の設定、適切な残業時間の管理・実施を行う(GOAL8)。
- ④ 業務を通じて土砂災害及び水害に強いまちづくりを手助けする(GOAL11)。
- ⑤ 弊社が保有する技術について、産官学からなる研究会、学会、協会等に参加し情報の共有、新技術の開発を目指す(GOAL17)。
- ⑥ 災害・水害に強いまちづくりを目指すとともに、サイクル材の使用を提案し地域の環境保護の手助けをする(GOAL13)。



(2) SDGs 活動の報告

■ただ今準備中。

活動報告が上がり次第、公開いたします。